

令和5年度 大森第一中学校における授業研究

《校内研修のテーマと授業研究について》

今年度は年間の研修テーマを「授業改善に向けたデジタル（ICT）の効果的な活用と既存の学習法の併用バランスについて」とした。本校では年度当初授業中のICT活用がまだ充分とは言えない状況であった。そのため、タブレット関連の研修と並行しながら、授業の中でいかにICT活用をしていくかを教員が一丸となって考え、取り組んできた。

《研修および授業研究の進め方》

【1学期】

- ・タブレット活用における基礎的な内容の研修（3回）
- ・全教員によるICTを活用した授業案の作成

【2学期】

- ・（校内研修会の実施）ICTを使った授業案についての教員間での共有
- ・ICTを使った授業の実践と授業観察

【3学期】

- ・ICTを使った授業の実践と授業観察
- ・教員における授業研究についての協議
- ・講師による講演と研修（研究）のまとめ

《研究の成果》

年度当初と比較し、授業でのICT活用が進み、学校全体としてタブレットを使う時間が増えた。また生徒もタブレットを使う場面が増えたことで活用の幅が広がってきている。

Googleのアプリ、まなびポケットに入っているスクールタクト・ムーブノートなども、授業により効果的に使える場面を見極め、授業の中で生かすことができた。また教科の授業だけでなく、総合的な学習の時間の校外学習の事前事後学習を始め、学校全体としてタブレットの活用の場面が増えてきた。ICTを活用し学習内容を視覚化することで、生徒同士で意見を共有することができ、他者の考えなどを参考に理解を深められる場面が増えてきている。また、「主体的で対話的な深い学び」にもつながる授業改善の実感がもってきている。

《今後に向けての課題等》

今年度で使用ができなくなってしまう「スクールタクト」の代わりになるようなアプリの研修や、まだあまり活用できていないAdobe Expressなど、今後活用にあたってどのようなことができるのか研修を実施していく必要がある。